

令和6年度第1回大分県ツーリズム戦略推進会議 委員意見

日時：令和6年5月16日(木) 15:00～16:30

場所：大分商工会議所5階中ホール

項目	No.	発言の要旨
協議事項(1)次期 ツーリズム戦略について	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大分の観光は大規模イベントに頼ってきた印象、大きなレガシーが育っていない。 ・大分県独自の継続的な観光キャンペーンが必要ではないか。 ・大分県の観光は別府、湯布院に続く観光地が必要。 ・各市町村が観光素材を発掘し、お互いに競争意識を持たせることも大切ではないか。 ・「おんせん県おおいた」は非常に良いがサブテーマの「味力もいっぱい」はどこでも同じ、大分県ならではのサブテーマを再度設定しても良いのではないか。
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大分は温泉が豊富にあるからこそ、サステナブルの観点からも温泉の保護について考え、未来に繋げる事を意識したら面白い。 ・訪れる目的の多様性も意識するべき、観光だけでなくワーケーションや療養など。 ・小さい子供をターゲットにした優しい街づくりを打ち出す事も有効、子供にとって快適であれば両親も必ず好きになってくれる。
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい戦略の策定にあたっては、既存の戦略の指針がしっかり施策に反映されたのか振り返り必要がある。 ・個人的には地域住民との協働が不足しているようにも感じる。次期戦略では実行できるようにしてもらいたい。
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域素材の磨き上げについては今後も継続していくべきと考える。まだまだ新しい素材も眠っているはず。 ・客単価が低いので高付加価値化を図っていく事が重要、一方で単価が上がるとローカルの方は嫌がる。いかにバランスをとるかというところ。 ・MICEについては全部に取り組むのは難しい。I(インセンティブトラベル)の部分を中心に強化してはどうか。 ・多言語対応については数値目標を設定するべき。 ・DXについても電子クーポン等を絡め、引き続き推進するべき。 ・新しい指標としてシェアリングエコノミーの記述も検討すると良い。空き家はたくさんあり、副収入を求めている事業者もいる。
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・進撃の巨人は世界的なコンテンツとなっている。イスラエルやメキシコから訪れている例もある。長く続いていくと思うので、日田だけでなく大分県全体で取り扱って良いのではないか。
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの戦略の見直しも必要となる。1～4期の戦略の指標と実績を振り返り整理すると良い。新しい要素を盛り込むばかりを意識するのではなく、文化や伝統にも目を向けるべき。 ・大分県内の価格の棲み分けを把握して料金分布を整理、さらにジャンルごとに整理することでそれぞれの価格帯に応じた対策が可能。また、そうする事で新たな発見(視点)も生まれる。
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・現行(4期)の指針は残していくべきだと思う。一方で地域住民の相互理解は必要、不足するとオーバーツーリズムにも繋がる。 ・「感染症や災害にも強い安全・安心なおもてなしの実現」は引き続き取り組むべき。 ・言いぶりはコロナ禍ならではの表現だと思うので、別の文言に置き換えても良い。「大分を訪れる全ての人に安全・安心なおもてなし」など。
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性もさらに広がっているので、その点も戦略には加えたい。「ユニバーサルデザインされた観光を目指す」など。 ・未来世代の子供達にも意見を聞いてもらいたい。
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者や高齢者だけでなく、子供やマイノリティなどの誰でも観光を楽しめる「アクセシブルツーリズム」という用語を採用しても良いのではないだろうか。
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・温泉が大事だからこそ温泉から離れて観光を見つめなおすという視点も重要だと思う。 ・環境への配慮など、振興局単位の意見交換でも多くの課題が見つかると思う。
	11	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県民が大分県を好きになるような観光づくりをする事で「大分って本当にすごい」と県民が自覚して、情報発信をしてくれるようになる。 ・大分は芸術面も魅力的だが、県民にもまだまだ十分に周知が進んでいない。県内の著名人を知る、歴史・文化に触れることが大切。 ・大分にはAPUもある、国際色豊かな学生の声を聴く事も非常に有意義だと思う。
	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを絞ることが重要、そのためには自分が活動している地域だけでなく県内一体で考え、どのようなコンテンツがあるかを把握する必要がある。 ・それぞれのコンテンツをどのように結び付けてどのように発信するかが肝になる。
	13	<ul style="list-style-type: none"> ・「おんせん県おおいた」は十分に浸透している。 ・これからは別府・湯布院を拠点に、観光客をどう周辺に送り出していくか。 ・各地へ波及していく観光を考えていくべき。